三里塚

最高裁による強制収用許さない

緊急５万人署名にご協力を

（写真は毎日新聞から）

東京高裁は２０１５年６月、千葉県成田市で有機農業を営む市東孝雄（しとうたかお）さんに、農地明け渡しを命じる判決を強行しました。

裁判は最高裁・上告審に入りました。成田空港建設に反対して50年、国策を阻んできた成田=三里塚で、空港拡張による農地の新たな「強制収用」とのたたかいが正念場を迎えています

農地は命

（写真上）誘導路に囲まれた市東さんの家と畑
（写真下）第１次強制代執行との闘い（1971年春）

三里塚芝山連合空港反対同盟

（連絡先）事務局長・北原鉱治　千葉県成田市三里塚１１５
TEL：0476-35-0087　http://www.sanrizuka-doumei.jp/

戦争に向けた農地取り

この地で農業続ける

市東孝雄（しとうたかお）さん

空港会社が取り上げようとしている畑は、祖父の代から100年耕作し、私にとって命そのものです。判決は、私から農地を取り上げて、農業をやめろというものです。これは、農民としての“死刑宣告”です。私は絶対に受け入れることができません。

●空港会社がなぜ、私の畑の地主なのか！

私が一番納得できないのは、空港会社が「地主」だと名乗り出たことです。空港会社は、「地主」として小作契約解除を主張していますが、違法でデタラメです。

もともと、農地改革で解放されるべきだった農地で、小作人の承諾なしに売買できない農地です。空港会社は1988年に私の畑を買収したと言いますが、父には秘密にして、農業委員会の許可も受けずに売買したのです。秘密売買は無効だし、空港会社に地主を名のる資格はありません。

●農地法による不当な収用

判決は、「解約手続きであって強制収用ではない」といっています。しかし、最後は強制的に畑を取り上げるのです。「へ」の字の誘導路の手直しのためにです。私の身に降りかかっているのは、「契約解消」に名を借りた農地強制収用です。

対象になっている畑は、耕作地の４分の３にもなり、これだけ農地を取られたら、もはや農業を続けることはできません。

●農地取り上げは私だけの問題ではない

何度も改良を重ねた畑は私の身体の一部です。農地は単なる土地ではありません。特に有機農業は土づくりがすべてです。

いま全国の農家は、私と似たような状況におかれています。政府は農家をつぶす方向に動いています。ＴＰＰを進めて家族農業では生きられないようにし、農地法も改悪する――農業を続けることが、闘いそのものになっているのです。

（東京高裁での市東さんの意見陳述から）

産地交流で集まった消費者の皆さんに生育状況を説明する市東さん（成田市天神峰）

市東孝雄さんは千葉県成田市で親子3代耕し続ける農民（65歳）です。1999年に父が亡くなったことから遺志を継いで反対同盟員となり、受け継いだ農地で、有機完全無農薬の野菜作りに携わって、年間50種類以上の野菜を栽培しています。

市東さんの農地裁判とは

市東さんに黙って畑の底地を買収した空港会社は、「小作契約の解除」を主張（2003 年）し、2006 年に千葉県知事の「解約許可」を取りつけました。市東さんが不当を訴えると、強制的に取り上げるための裁判を起こしました（2007 年）。

裁判の中で市東さんと私たちは、空港会社による署名・文書の偽造といったデタラメや数々の農地法違反、憲法違反を明らかにしてきました。

しかし、千葉地裁も東京高裁も必要な証拠・証人調べを行わず、空港会社に言いなりの、「農地明け渡し判決」を強行したのです。

上げを許さない署名です

なぜ農地を取り上げる？

私たちは1966年以来、地元住民を無視した国家暴力による空港建設に体を張って反対し、国や空港会社と今も闘い続けています。

成田をめぐって今、国や空港会社、地元財界などは、「Ｂ滑走路の1000㍍延長」や「第３滑走路計画」など新たな空港拡張を表明し、「24時間空港化」まで声高に叫んでいます。

そのため国と空港会社は、違法に農地を取り上げ、私たちの「反対闘争」をつぶそうというのです。私たちが「戦争反対」を掲げて、国策と真っ向から闘い続けていることがじゃまなのです。

真のねらいは軍事空港化

空港拡張の真のねらいのひとつは軍事転用です。

安保法制論議で安倍首相は、集団的自衛権行使の対象として「朝鮮半島」を明言しました。1994年の朝鮮危機以来、4000㍍滑走路を持つ成田は、米国本土から飛来する米軍30万人の中継基地に位置づけられています。そのため、空港周辺のさまざまな施設が事前調査されました。

本年４月の日米安保ガイドライン改定や安保法制でも、「民間空港、港湾」の有事利用があらためて明記され、重要な拠点に位置づけられています。

救援物資輸送を口実に成田空港を使用した自衛隊機（２００１年２月５日）

沖縄・福島とひとつになって

「国家のために従え」と言わんばかりの辺野古新基地建設、原発再稼働に向けたやり方は、成田と同じです。

安倍政権の安保法制のごり押しをはじめ、民衆を犠牲にしながら一部の資本が生き残るための政治を変えるために、私たちは福島・沖縄の人びとと怒りをひとつにしてたたかいます。全国の労働者・農民・市民の皆さんと力を合わせ、戦争と改憲を阻止するために、農地を守ってたたかいます。

皆さん！ぜひ私たちの力になって下さい。

「農地を奪うな！」の声で最高裁を包囲しよう！

千葉地裁、東京高裁でのたたかいで、私たちは「３万人署名運動」に取り組み、「農地取り上げ反対」の声を集めてきました。

しかし、地裁・高裁判決はこうした声に耳を貸さず、「農地を明け渡せ」と市東さんに命令したのです。絶対に許せない暴挙です。

農地は農民の命です。市東さんにとって、100 年耕し育てた農地を受け継ぎ、有機農業を続けるうえで、この天神峰の農地でなければならないのです。たたかう市東さんの譲れない思い、農民としての誇りを何としても守ろうではありませんか！

一体どうして裁判所が農地を奪えるのか！　空港建設のためならどんな無法も許されるのか！　農業よりも空港優先、個人の権利より国家の利益という判決。まさに「命より金」という新自由主義の判決です。「強制収用」を許さない広範な農民・労働者・市民の怒りを結集し、東京高裁の「農民殺し」判決を、何としても最高裁でくつがえしましょう。ぜひ署名にご協力下さい。

※署名用紙はこちらからダウンロードできます
http://www.sanrizuka-doumei.jp/home02/2015/pdf/saikosaishomei.pdf

東京高裁を包囲するデモの先頭に立つ市東孝雄さん（右から２人めー２０１４年１０月８日　霞が関）

賛同のお願い

「緊急５万人署名運動」を最高裁包囲の大きな力にするため、ともに署名運動に取り組んで下さることを呼びかけます。

ぜひ、賛同人・賛同団体となって、署名運動を広く強く進める力になって下さい。

三里塚に心を寄せる個人・団体の賛同と署名の取り組みを推進力にして、市東農地闘争に絶対に勝利しましょう。

皆さんのご協力を心からお願い申し上げます。

賛同用紙は下記または連絡先まで
http://www.sanrizuka-doumei.jp/home02/2015/pdf/sando-shomei.pdf

署名および賛同は、おもてに記載の連絡先まで送って下さい。用紙やリーフレットの問い合わせも連絡先までお願いします。

署名運動を短い期間で力強く進めるためには、資金が必要です。**カンパへのご協力**もお願いいたします。

郵便振替口座　00130-0-562987
口座名　三里塚芝山連合空港反対同盟

何が何でも市東さんの農地を守る

反対同盟事務局長・北原鉱治

今日にも戦争が始まってもおかしくない情勢です。成田空港は、有事の際には軍事空港として使用されます。沖縄と連帯して、反戦・反基地闘争を闘います。

「ひとりは万人のために、万人はひとりのために」

ひとりの農民の権利を守ることは、すべての人々の未来と命のかかった問題です。

市東孝雄さんの農地は絶対守り抜かなければなりません。

反対同盟の全国集会で発言する北原事務局長（背中＝２０１５年３月２９日 成田市栗山公園）